



## 令和3年度 障がい者就労支援セミナーを開催しました！！

「全社員の働く幸せの実現と皆働社会実現」を一貫して目指す日本理化学工業株式会社。昭和35年から知的障がい者の雇用を開始し、書籍『日本でいちばん大切にしたい会社』やテレビ番組等、多くのメディアで紹介され、経営と福祉の両面で注目されているチョークを主力とした文具・事務用品の製造会社です。講演では、60年間の障がい者雇用の現場での具体的な取り組みについてお話いただきました。

### 日本理化学工業株式会社

日本理化学工業株式会社は社員90名中、知的障がいのある社員が63名（そのうち重度の方が26名）働いている企業です。

障がいのある方の雇用は昭和34年、養護学校（現特別支援学校）の先生の依頼で2週間の実習を受け入れたことから始まったそうです。しかし「雇用は最初から順風満帆ではなかった。いろいろな方の支えを受けてやってきた」と大山社長。その中でも禅のお坊様のお言葉「究極の幸せ」を教わったことをきっかけに、企業の役割についてお考えになったことが大きかったそうです。

### ～ 障がい者雇用の取り組み ～

障がいのある社員の雇用に対して一番大事にしていることは「相手の理解力に合わせて教える・段取りをすること」で、理解力に合わせた製造工程の改革や治具（道具等）の工夫を行っているそうです。また声掛けを積極的に行い、仕事に対するプライド（責任感）を持ち、集中・安心して働くことができる居場所を作ることが大切に行っているとのことでした。彼らは会社にとって必要な社員であると大山氏。諦めず、彼らを職人にするという、60年間の会社の姿勢が多くの障がい者雇用現場の見本となっています。

### 講演内容

#### ■講演

『働く幸せのために  
社員から教わったこと』

#### ■講師

日本理化学工業株式会社  
代表取締役社長  
大山 隆久 氏



#### 【人間の究極の幸せ】

人に愛されること  
人からほめられること  
人の役に立つこと  
人から必要とされること

#### 【主力製品】

↓ チョーク



↑ kitpas  
(キットパス)

### 4つの約束(入社条件)

1. 身の回りのことは自分でできる（トイレ・食事など）
2. 簡単な意思表示 あいさつができる  
〔 わかった・わからないをしっかりと伝える。  
その人の行動をみて理解しているか確認することとセット 〕
3. 一生懸命に働く(お給料をもらう社会人です)
4. まわりに迷惑をかけない(みんなで協力する)

「4つの約束を守ることができて  
いる社員は私(大山氏)を含めて  
いません。この4つの約束を守ろう  
とする人。それがうちの社員なんだ  
よ。」ということで、この約束ごとに  
照らして社員の方の状況を確認す  
ることを大事にしているそうです。

大山社長はチョコレートのマーケットが縮小していく状況のなかで、経営に対する悩みをお持ちになったこともあったそうですが、先代（お父様）の教えや、社員の物づくりの職人としての懸命な働きを見て、このような会社を広めていきたいと思うようになったそうです。「人の役に立つことは自分の存在意義を確認することにつながり、その責任感によって人からの信頼が得られ、幸せの実感につながっていく」。働く幸せを障がいのある社員から教えてもらったと大山社長。「全社員の働く幸せの実現と皆働社会実現」のために、今後も障がいのある方の雇用にこだわり続けていきたいということでした。

## 大変貴重なお話を頂き、ありがとうございました。



### 大山氏へのご質問（一例）

（問い合わせの多い質問について、お答えいただきました。）

#### Q. 障がいのある方に対する支援者の関わり方について、メッセージがあればぜひお聞きしたいのですが？

→ 支援者としていろいろと気遣いされることもあるかと思いますが、障がいのある方のできることをぜひ応援して欲しいと思います。そのことが本人に伝わり、自信になると思います。就労面でもいろんな可能性を伝えてもらうとチャレンジするきっかけになるとと思います。

#### Q. 長く働くためには、在学中を含めどのような力を身に付けておいたらよろしいでしょうか。

→ 挨拶・返事をきちんとすることだと思います。人と人の関わる最初の所であると思うので、気持ちよく挨拶をしてもらえるとお互い気持ちよくやっていける。そういうことで周りのひとが応援してくれることにもつながりますし、お互い、いい空気の中で仕事をするきっかけとなると思います。

#### Q. 障がいのある方が年齢を重ねる中で、今まで従事していた業務への対応が難しくなる方に対して御社ではどのような対応をされていますか？

→ 弊社では定年が60歳ですが、65歳を超えて頑張ってくれている方もいます。年齢を重ね、今の仕事やしんどくなれば、その他のできる所を探していく。またちょっとした治具の工夫で超えていけることもあるのではないかと思います。

## ～ 視聴者からのご感想を一部ご紹介します。～

- 今までは就労について、生活費を稼いで自立をしていくことに注目してばかりだったのですが、講演を拝聴して、就労が当事者の生きがいになり、心を豊かにしてくれる面もあると学ぶことができました。生活支援の場でも安心できる居場所を作っていくことなど活用できる内容ばかりでした。今後の支援に活かしていきたいと思います。
- 今回のお話は、とても感動いたしました。先代のご苦勞や給与や手当の話、雇用の話、ケガの話、採用経費など、やはり中小企業の経営者でないと分からない悩みが多く、当初懸念されていることなどが手に取るように分かりました。それとともに、知的障がい者の方々の純粹さや真面目さなどの良さもとてもよく理解することが出来ました。
- 知らない情報や接し方・考え方等、勉強になるものが多くありました。特に、人それぞれへの伝え方や信頼関係の構築などは、普段の利用者さんへの対応に限らず、職員やそれ以外の一般の方、お客さまに対しても同じことが言えるのではないかと感じました。

日本理化学工業株式会社のホームページや書籍「虹色のチョコレート」に詳しく障がい者雇用の取り組みなどの紹介があります。ぜひご覧ください!!



# 令和元年度 障がい者の就労についての調査

## ～ 福岡市の場合 ～

＊「福岡市障がい児・者等実態調査 報告書」より(令和2年3月)

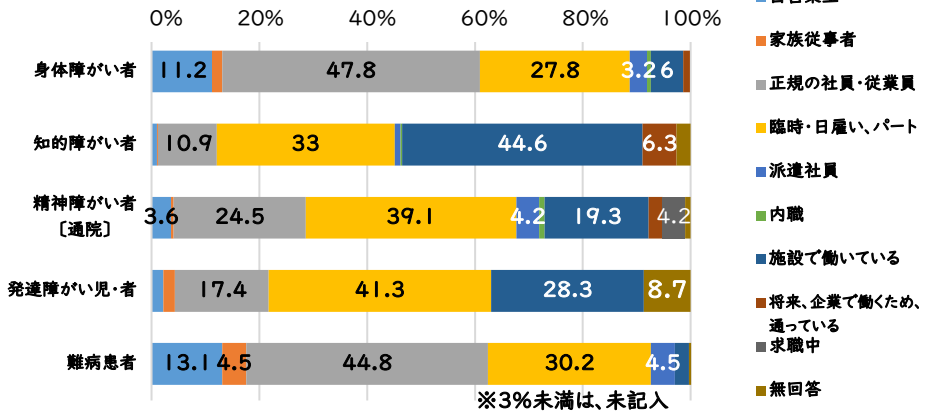
福岡市に居住する障がい児・者等の生活実態や意識、福祉施策に対する要望等を把握することを目的として実施した調査の結果が出ました。その中で就労に関する調査結果をご紹介します。

### 1. 就労状況・就労形態 ～身体障がい者等は「正社員」、知的障がい者は「施設」で就労～

★仕事をしている人は、64歳以下の身体障がい者の57.1%、知的障がい者の45.2%、精神障がい者(通院)の27.4%、発達障がい者の49.4%、難病患者の40.5%となっています。

★就労形態をみると、64歳以下の身体障がい者、難病患者では「正規の社員・従業員」が全体の4割台を占めていますが、知的障がい者では約1割に留まっています。また、知的障がい者では、施設で働いている人が4割台(44.6%)を占めて最も多くなっています。

#### ■ 就労している人の就労形態

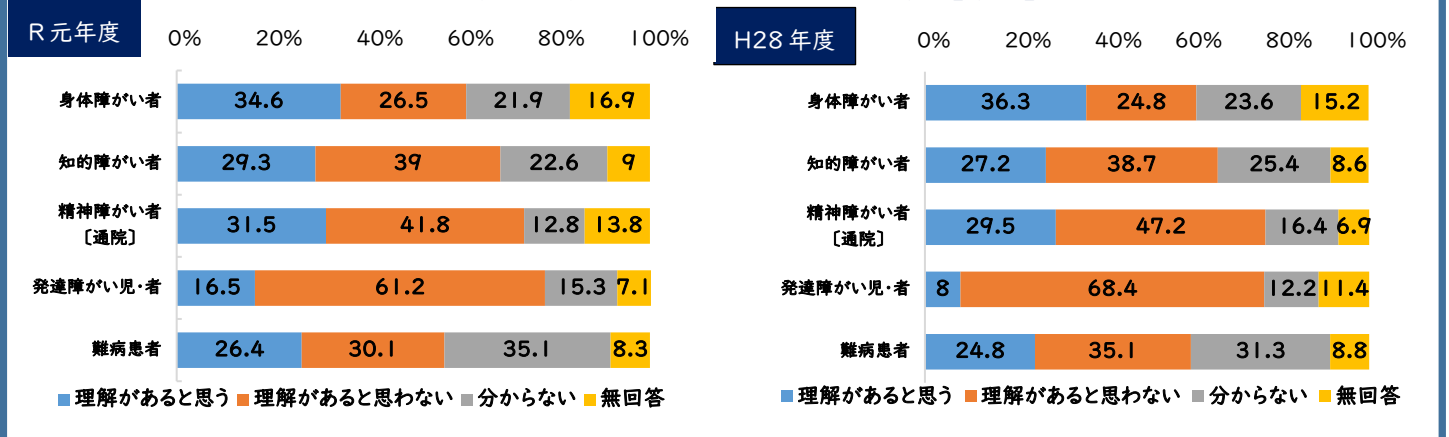


### 2. 障がい者の就労に対する社会の理解度 ～「理解があると思わない」の割合が高い～

★障がい者の就労に対する社会の理解度をみると、身体障がい者以外では「理解があると思わない」の割合が「理解があると思う」を上回っています。

★前回調査結果と比較すると、身体障がい者を除く障がい種別において、今回調査の方が「理解があると思う」の割合が高くなっています。

#### ■ 障がい者の就労に対する社会の理解度【集約】



### 3. 就労支援として必要なこと ～知的・発達障がい児・者では『ジョブコーチ』のニーズが高い～

★障がい者の就労支援として必要なことをみると、「調子の悪いときに休みを取りやすくする」や「短時間勤務などの労働(作業)時間の配慮」、「工賃(収入)の増加」は、多くの障がいに共通して上位にあがっています。

★知的障がい者、発達障がい児・者では「仕事(作業)上の援助や本人・周囲への助言を行う者による支援」、いわゆる『ジョブコーチ』に関するニーズが高くなっています。

★なお、発達障がい児・者では、「発達障がいの特性を踏まえた作業手順の視覚化などの配慮」も半数超(56.5%)となっています。

■ 就労支援として必要なこと (複数回答上位5項)

順位	身体障がい者	知的障がい者	精神障がい者【通院】	発達障がい児・者	難病患者
1位	調子の悪いときに休みを取りやすくする (35.3%)	仕事(作業)上の援助や本人・周囲への助言を行う者による支援 (41.7%)	調子の悪いときに休みを取りやすくする (54.8%)	仕事(作業)上の援助や本人・周囲への助言を行う者による支援 (61.2%)	調子の悪いときに休みを取りやすくする (54.0%)
2位	在宅勤務 (29.9%)	工賃(収入)の増加 (37.2%)	短時間勤務などの労働(作業)時間の配慮 (44.7%)	調子の悪いときに休みを取りやすくする (57.6%)	短時間勤務などの労働(作業)時間の配慮 (41.3%)
3位	短時間勤務などの労働(作業)時間の配慮 (29.4%)	調子の悪いときに休みを取りやすくする (36.6%)	工賃(収入)の増加 (35.4%)	発達障がいの特性を踏まえた作業手順の視覚化などの配慮 (56.5%)	在宅勤務 (39.8%)
4位	通院時間の確保・服薬管理など医療上の配慮 (23.5%)	試しにいろいろな仕事(作業)を体験してみること (30.6%)	在宅勤務 (31.0%)	短時間勤務などの労働(作業)時間の配慮 (50.6%)	通院時間の確保・服薬管理など医療上の配慮 (34.5%)
5位	工賃(収入)の増加 (20.8%)	仕事(作業)内容の簡略化などの配慮 (28.8%)	通院時間の確保・服薬管理など医療上の配慮 (29.8%)	工賃(収入)の増加 (43.5%)	収入の増加 (21.5%)

# 特別支援学校技能検定(清掃)



特別支援学校技能検定(清掃・上級)が令和3年12月7日に博多高等学園の体育館で行われ、44名の高等部生徒が検定に臨みました。当日は大変緊張した面持ちで自分の検定の順番を待っていた生徒も、いざ検定が始まると集中して練習の成果をしっかりと発揮していました。なお、初級と中級の検定は、各学校で実施されています。

## ● 技能検定(清掃)とは？

清掃の検定種目は、テーブル拭き・自在ぼうき・水モップの三種目あり、初級・中級・上級を設け、それぞれの種目ごとに定めている作業時間・評価項目について審査し合否を判定します。



↑ テーブル拭き



↑ 自在ぼうき



↑ 水モップ



高等部生徒の就労先の仕事内容には清掃に関する作業が含まれていることが多く、この検定に取り組むことによって、就労に対し自信をつけることができます。また、当日審査にあたった先生は講評のなかで、「日常生活の中でもこの清掃の技術を活かしてください」と仰っていました。

今回の検定では、全ての受験者が合格しました。この検定に向けて各学校ごとに取り組みを行い、生徒も練習を繰り返し行うなど頑張りました。この努力をぜひ今後もさまざまな場面で発揮してほしいと思います。

## 令和3年度 保護者セミナー開催のお知らせ

就労に向けて ～ 障がい者雇用の現状、基本となる力って？ ～

動画配信

本セミナーでは障がいのある方の就労支援を行っている福岡市障がい者就労支援センターの方を講師としてお迎えし、就労支援をしている立場から、今のうちに知っておきたい就労の現状や家庭で取り組めることについて講演いただきます。多数のご視聴をお待ちしています。

■ 配信方法 YouTubeにて限定公開

■ 配信期間

令和4年3月7日(月)10:00～3月24日(木)16:00まで

■ 申し込み方法

電子メールにて福岡市発達教育センターまでお申し込み下さい。

申込メールアドレス：[yume\\_network@city.fukuoka.lg.jp](mailto:yume_network@city.fukuoka.lg.jp)

件名に「保護者セミナー申し込み」と明記の上、氏名(ふりがな)、学校名・学年(所属)、電話番号を入力し、送信してください。

◆お問い合わせ先:福岡市発達教育センター

担当 平井・宮代 TEL 092-845-0015

こちらからも  
申込が出来ます



## 福岡市教育委員会 発達教育センター

福岡市中央区地行浜2丁目1-6

【TEL】092-845-0015 【FAX】092-845-0025

【E-mail】[yume\\_network@city.fukuoka.lg.jp](mailto:yume_network@city.fukuoka.lg.jp)

【HP】<http://www.fuku-c.ed.jp/schoolhp/hattatuc/>

「夢だより」についてのご感想、ご意見などをお寄せください。

